

ソウル国立大学（韓国）が表敬訪問

平成22年8月27（金）、ソウル国立大学Young-Ger Suh薬学部長一行が齋藤学長を表敬訪問した。一行は8月26日～28日に千葉大学で開催するソウル国立大学-千葉大学共同シンポジウム「天然物研究の最前線」のため来訪し、千葉大学長への表敬訪問を行ったもの。

同大学は1946年に韓国で初めての国立大学として設立され、Times社世界ランクでは50位（2008年-2009年）に位置し、韓国のトップクラスの教育研究水準を有する名門大学である。学生数は大学院生を含めて約3万人、16の学部、98専攻の大学院、および5つの専門職大学院から構成されている。

同大学と千葉大学の間には2004年以降、3つの部局間交流協定が締結されており、以来、各部局で活発な教育研究交流が続いてきた（1. 同大学薬学部と千葉大学薬学部・医学薬学府、2. 同大学農業生命科学部と千葉大学園芸学部・園芸学研究科、3. 同大学美術学部と千葉大学工学部・工学研究科）。

今回の表敬には、国立ソウル大学から Sang Geon Kim 副学部長、Hyeung-geun Park 副学部長、Mi-Ock Lee 薬学科長、Jee-Woo Lee 薬学研究所長、Youngbae Suh 天然物研究所長、Wan-Gyoon Shin 高度薬学教育部長、Yeoung-Shik Kim 教授、Hye Suk Lee 附属病院薬剤部長、そして千葉大学からは山本恵司理事、西田篤司薬学研究院長、安藤昭一副理事、佐藤哲男千葉大学名誉教授、堀江利治教授、荒野泰教授、山口直人教授、戸井田敏彦教授、五味田国際企画課長が同席した。

表敬では千葉大学概要説明の後、ダブルディグリー、薬学教育プログラム、テニュアトラック、大学ランキング、英語プログラムなど多様な話題について、終始和やかな雰囲気の中で意見交換が行われた。最後に、今後も両大学間で活発な教育研究交流を続けていくことで合意した。



前列右から3番目：ソウル国立大学薬学部 Young-Ger Suh 薬学部長、
4番目：Sang Geon Kim 同大薬学部副学部長